

令和2年度 第1回 消費生活モニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎暮らし向きについて

令和2年5月の月例経済報告（内閣府）で、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある」と報告されています。先行きについては、「感染拡大の防止策を講じつつ社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある」としています。

このアンケートは、毎年ほぼ同じ内容で、消費者の暮らし向きの実態や意識を調査する目的で実施しています。過去の調査結果と比較することで消費者意識の変化を把握するとともに、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

◎エシカル消費について

『人と社会、地球環境、地域のことを考慮して作られたモノ』を購入・消費することを【エシカル消費】と言います。エシカル消費を意識した行動は、「消費者一人ひとりが消費を自分の満足のためだけではなく、周りの人々や将来生まれる世代、社会や経済情勢、地球環境などに広く影響を及ぼすことを認識して消費生活を行い、社会の発展と改善に積極的に参加する社会」を意味する【消費者市民社会】の普及につながります。そこで、「エシカル消費」に関する意識調査を実施し、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

2 調査事項

「暮らし向きについて」、「エシカル消費について」

3 調査対象 令和2年度消費生活モニター 17名（回答者数16名・回収率94%）

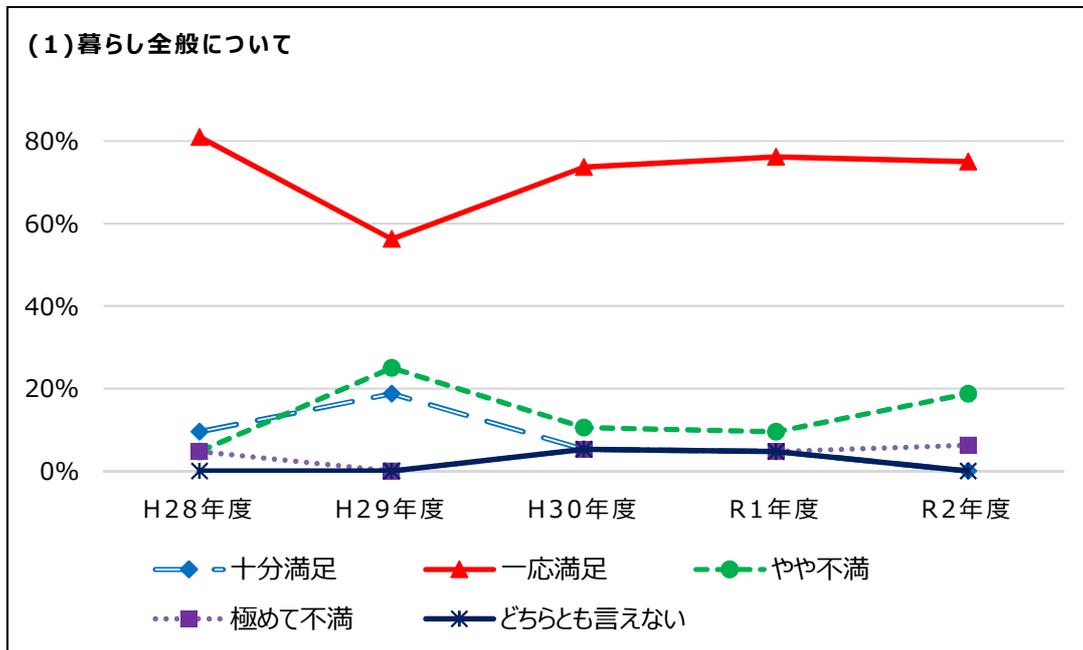
4 調査方法 郵送または電子メールによる

- 集計結果について、四捨五入の結果によって合計が100%とならない場合がございます。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 回答は一部抜粋。

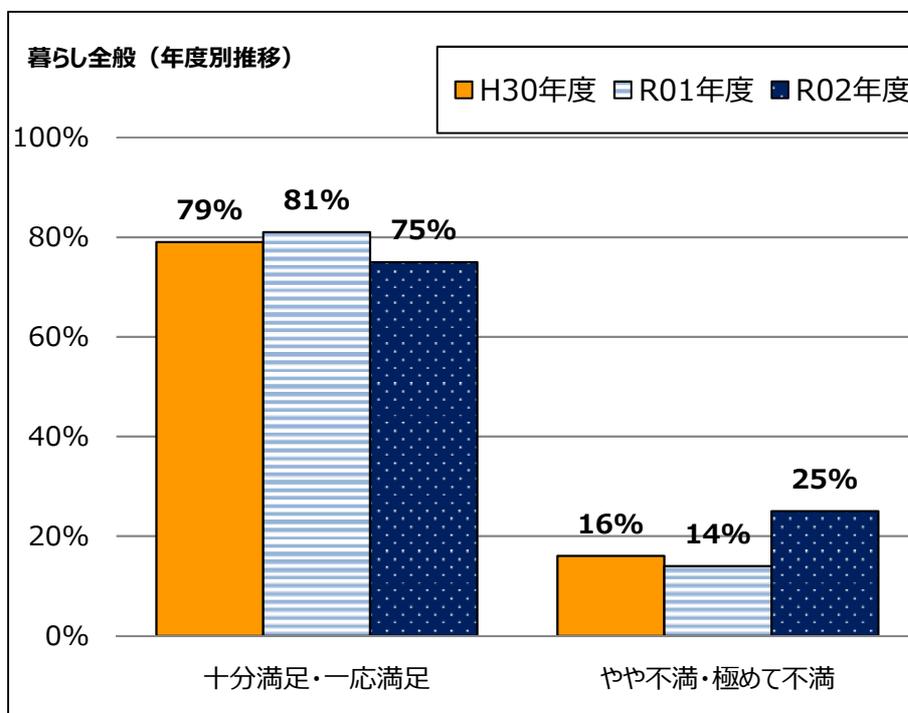


暮らし向きについて

問1 家庭の暮らし向きについてお伺いします。(1)暮らし全般について(2)衣生活について(3)食生活について(4)住生活について(5)レジャー・余暇の生活について

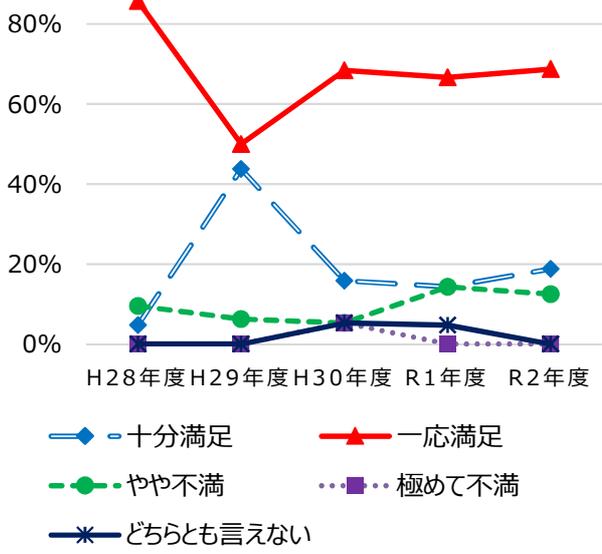


★ 暮らし全般については、『やや不満』が昨年より増加し、『十分満足』『一応満足』『どちらとも言えない』の回答がやや減少しています。

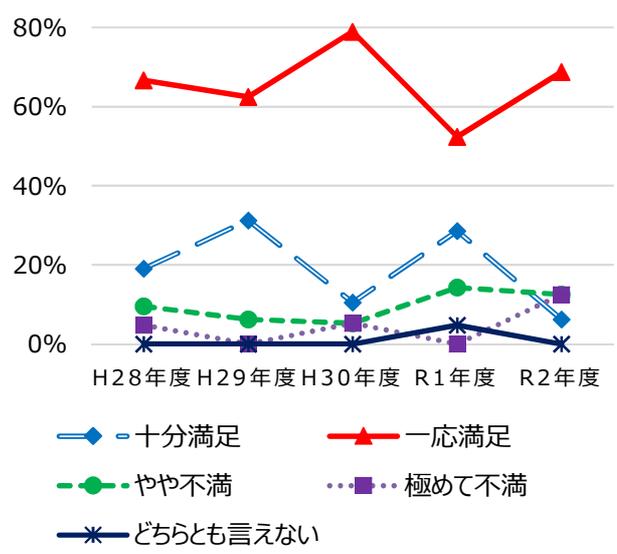


また、暮らし全般の満足度について、令和2年度は『十分満足・一応満足』の割合がやや減少し、『やや不満・極めて不満』の割合は増加しています。

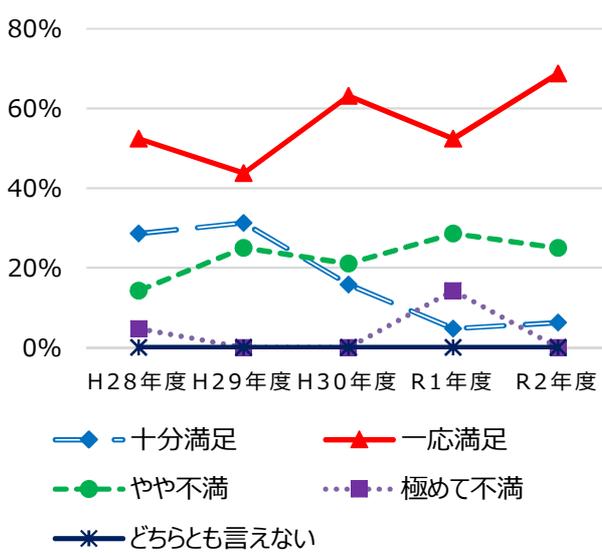
(2)衣生活について



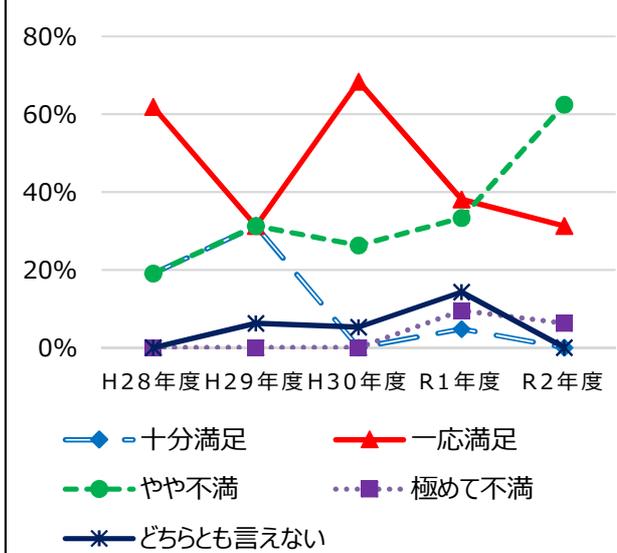
(3)食生活について



(4)住生活について



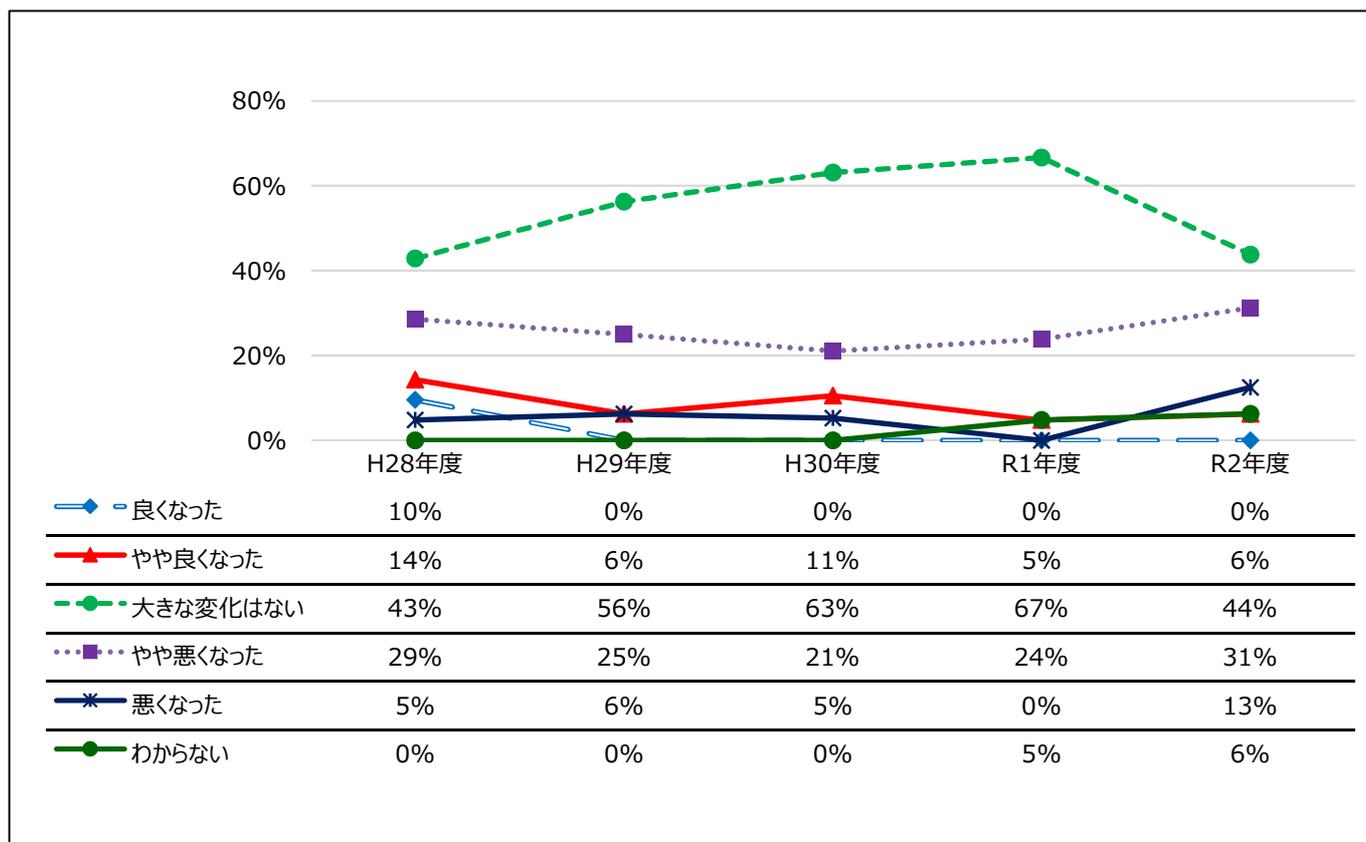
(5)レジャー・余暇について



★ 衣生活、食生活、住生活について「一応満足」と回答した方は昨年よりも上昇し、レジャー・余暇で「やや不満」と回答した方が昨年よりも上昇しました。



問2 家庭の暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？



★ 暮らし向きについて、「大きな変化はない」と回答した方が一番多く、44%となりました。「やや悪くなった」と回答した方は7ポイント増加し、「悪くなった」と回答した方は13ポイント増加しました。

《具体的な理由》

やや良くなった

- ・給料面では少し上がった為、生活に余裕ができた。

大きな変化はない

- ・年金生活をしているので、収入に変化がない。また、支出も現在の暮らしでは特に大きな変化はない。
- ・家族構成も収入も変わらない。
- ・新型コロナウイルス流行しているが、主人、息子とも仕事に変化はなく、外出自粛は意識しつつも、食料品等、買い物にも困ることはなかった。

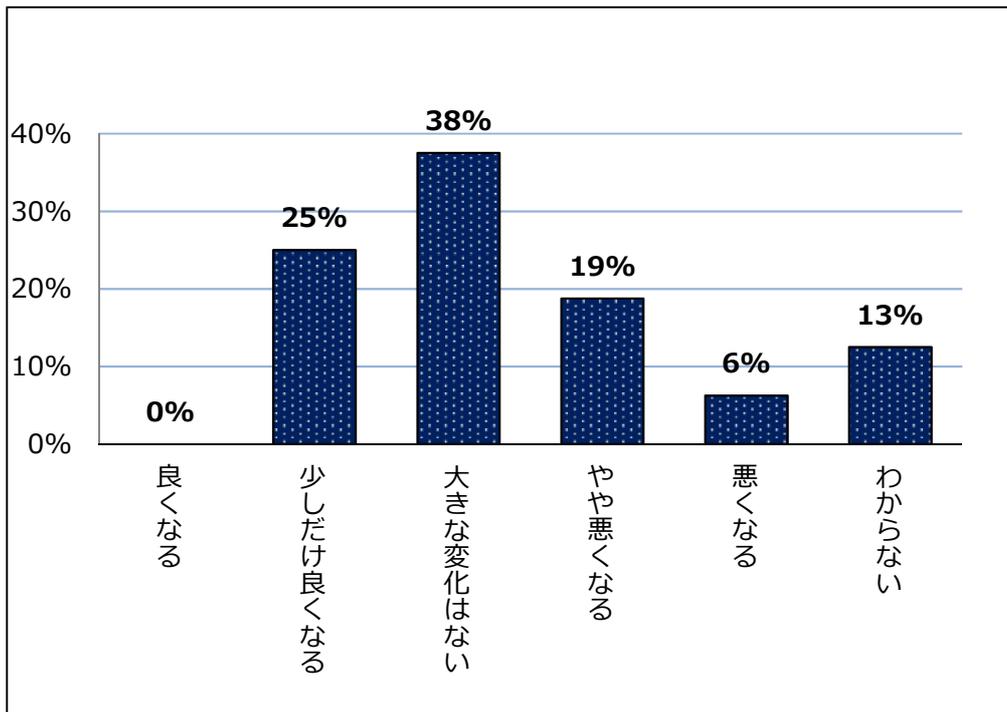
やや悪くなった

- ・夫の転勤により単身赴任となり、家計が2倍となったため。品物が全体的に割高で家計を圧している。
- ・家族の一人が昨年4月に仕事を退職したため。
- ・在宅勤務が増え、ストレスがたまる。

悪くなった

- ・妻の病気、入院手術等のため、貯金を切り崩し、将来が不安になってきた。

問3 家庭の暮らし向きは、来年の今頃にはどのように変化していると思いますか？



《具体的な理由》

少し良くなる

- 来年の春頃引っ越し、今の住宅ローンがなくなる予定のため。
- コロナ感染症と向き合い、3密を避け基本的な留意事項は継続して実施するという前提で、少しずつ社会との関わりも増え、生活も良くなっていくと思う。

大きな変化はない

- 主人が定年後再雇用になった為、今と変わらないと思う。
- 来年も収入に変化がないから暮らし向きも変わらないと思う。
- 今回のコロナ騒動はそう簡単には収束しないだろうし、さらなる対策を求められ続けると思う。旅行や外食などの楽しみも結局大きく制限されるだろうし、がまん生活の暮らしは変わらないと感じる。

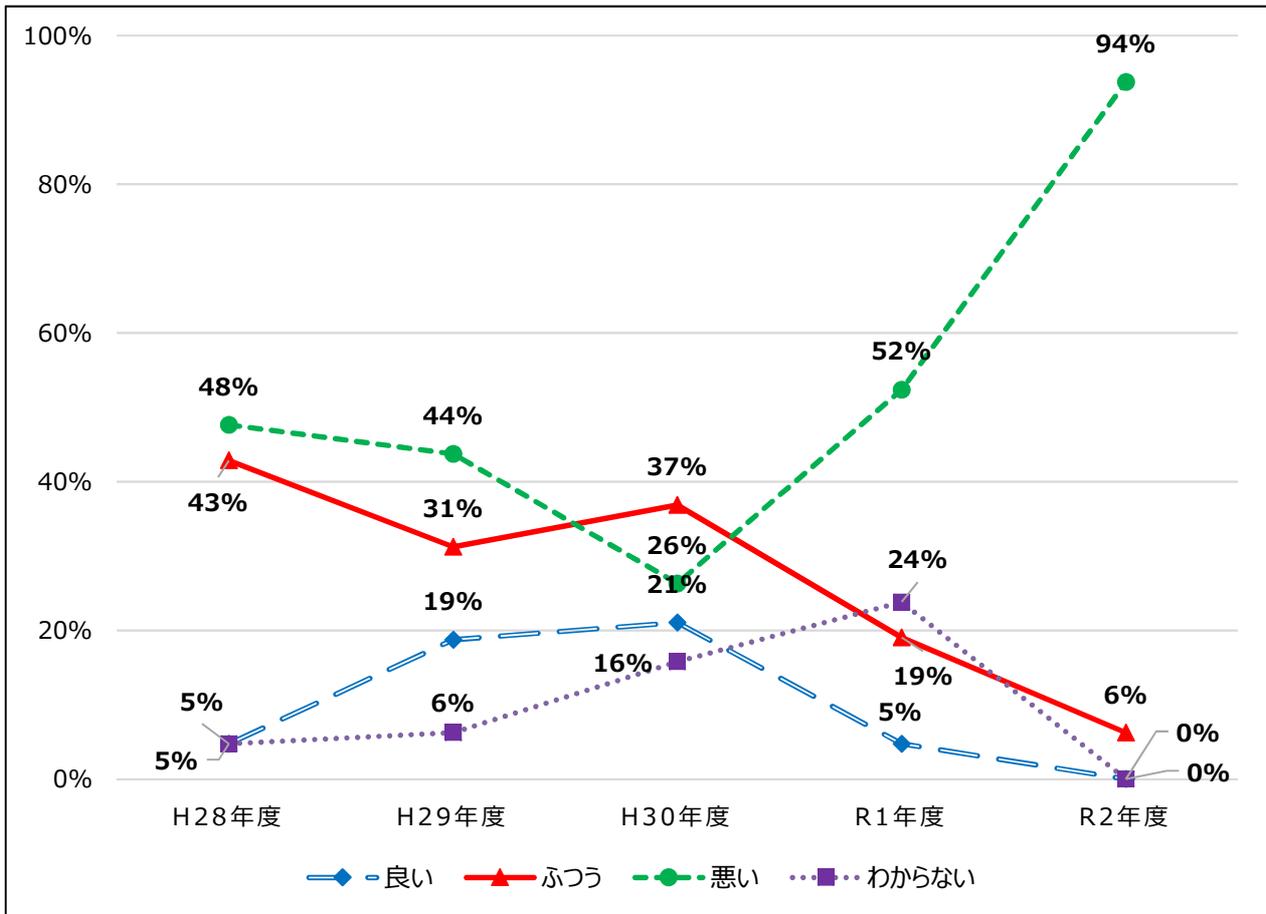
やや悪くなる

- いつ終息（収束）するかわからないコロナ禍の影響で暮らし向きは良い方向に行くとは思えない。衣食においてあまり変化はみられないが、多方面での制限が不便を感じられていると思う。
- 消費意欲減退している経済になっていて、その影響を受けると予想している。

悪くなる

- 貯金が底をつくのではと心配である。

問4 現在、景気についてどの様に感じていますか？



★ 景気について、「悪い」と感じる方が、前回は52%でしたが、今回は94%に増加しました。また、「ふつう」と感じる方が、前回は19%でしたが、今回は6%に減少しています。「良い」と感じる方は、前回の5%から0%に減少しました。

《具体的な理由》

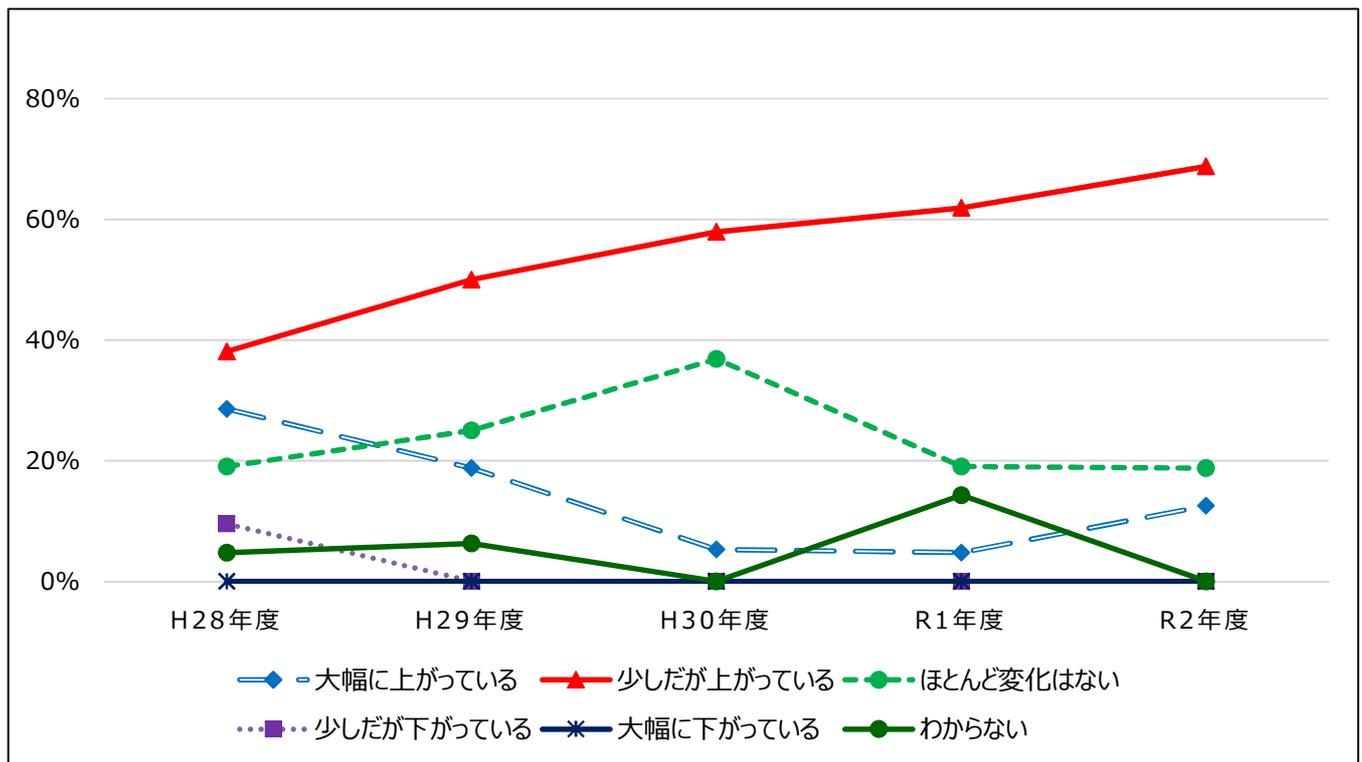
ふつう

- ・今現在は大きな変動（一般的生活）はない。しかし、コロナ禍の影響がこれからどのように表れるかが心配。

悪い

- ・コロナの影響でほとんどの企業は赤字になり景気も悪化していると思う。
- ・経済活動がストップしているのは事実だし、消費行動も控えざるを得ない。いつもなら頼まれてやっている仕事もすべてキャンセルになっている。
- ・コロナの影響で世界中の経済が低迷している。
- ・コロナ感染症の影響で、皆が仕事のあり方そのものを模索している中で、一旦経済活動はスローダウンせざるを得ないのでないか、と思う。
- ・今現在、日本はもちろん世界的にも景気が悪くなっていると新聞やテレビを観て感じている。
- ・コロナショックの為、世界的に悪い。回復するのにどのくらいかかるのか不明。

問5 日常生活を送る上で、物価について、昨年の今頃と比べてどの様感じますか？



★ 物価について、「大幅に上がっている」「少しだが上がっている」と感じている方がそれぞれ上昇し、「わからない」と答えた方は減少しています。

《具体的な理由》

大幅に上がっている

- ・コロナコロナと言って、全体的に価格を上げていると思う。日用品については、安くせず売れると思いい価格を上げている。食料品も家で食べる人が多いためか、野菜等も高く、店に行っても買うことを考える。「買物はまとめ買い」という事を良い事に、スーパーも価格を上げていると感じる。

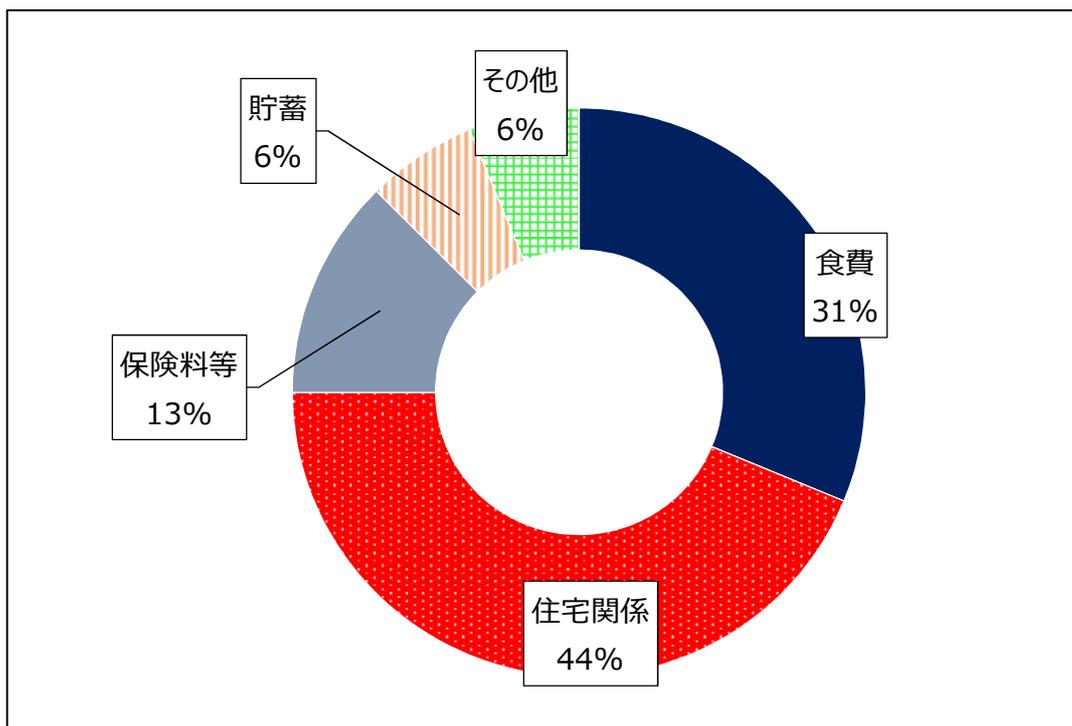
少しだが上がっている

- ・食料品の物価は値上がりしている。しかし、衣料品はあまり変化しているとは思わない。
- ・コロナのせいか便乗値上げが見られる。この2～3ヶ月いつの間にか商品の値上がりがみられる。
- ・値段が上がる。量が減って単価が上がっている印象。
- ・衣食関係の物価は変化していないのでは。しかし、マスクとか手洗い関係の一部衛生関係用品は極端に品薄状態が続いており、このためマスクは未だに極端に高値で推移している。

ほとんど変化はない

- ・毎月の食費や雑貨外が昨年の今頃と変わっていない。
- ・元々贅沢していない。

問6 日常生活を送る上で、現在1番生活を圧迫している費用は何ですか？



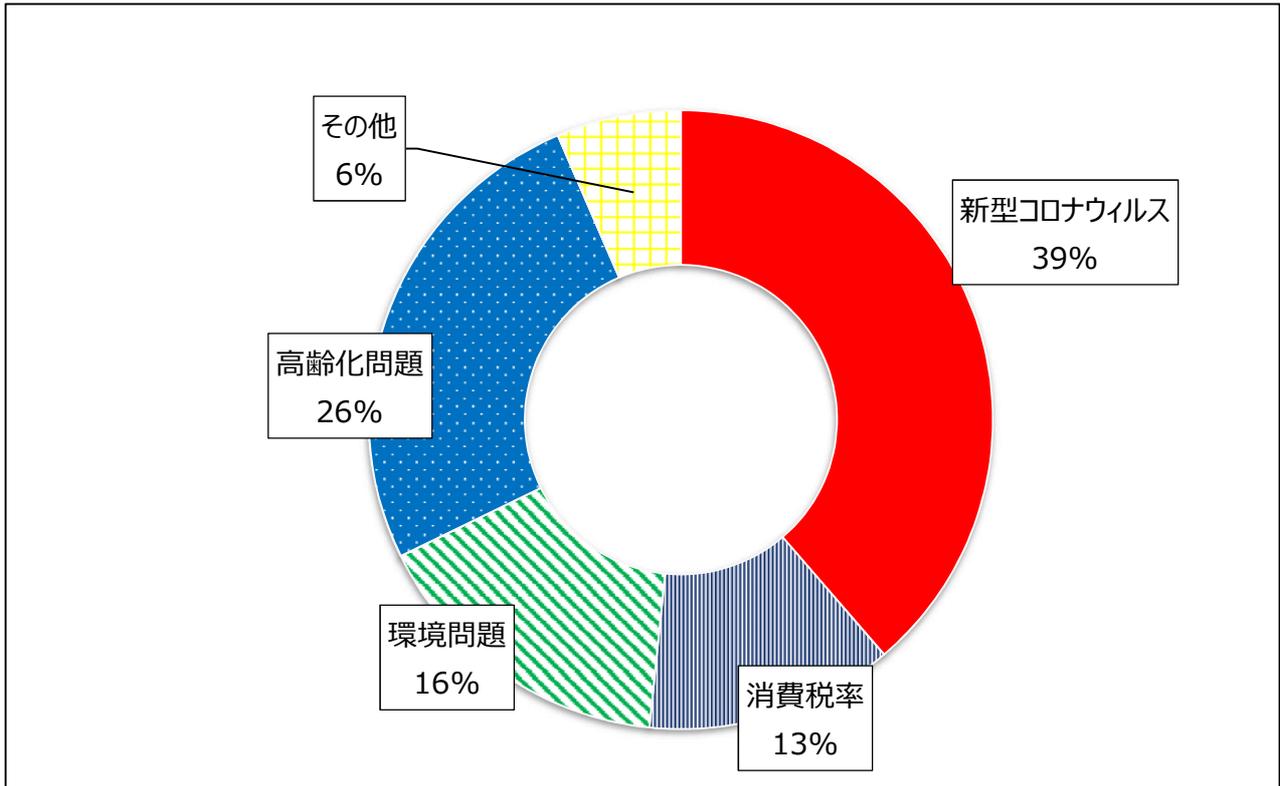
	第1位		第2位		第3位	
平成28年度	住宅関係	29%	食費	19%	保険料等	19%
平成29年度	食費	31%	住宅関係/貯蓄/その他		19%	
平成30年度	食費/教育費		26%		住宅関係	16%
令和1年度	住宅関係	29%	教育費/その他	19%	食費/保険料等	14%
令和2年度	住宅関係	44%	食費	31%	保険料等	13%

★ 第1位が「住宅関係」の44%で、第2位が「食費」、第3位が「保険料等」となりました。

《補足意見》

- ・(住宅関係) 住居が老朽化してきてあちこち修理やリフォームが必要になってきている。一回の件数でかなりの金額がかかっている。
- ・(住宅関係) 貸アパートを借りているが、やはり家賃が高いと感じる。
- ・(保険料等) 6月1日から、健康保険が協会健保の任意継続であったのが国民健保になった関係で、保険料が4倍強高くなった。

問7 暮らしの中で不安に思うことはありますか？



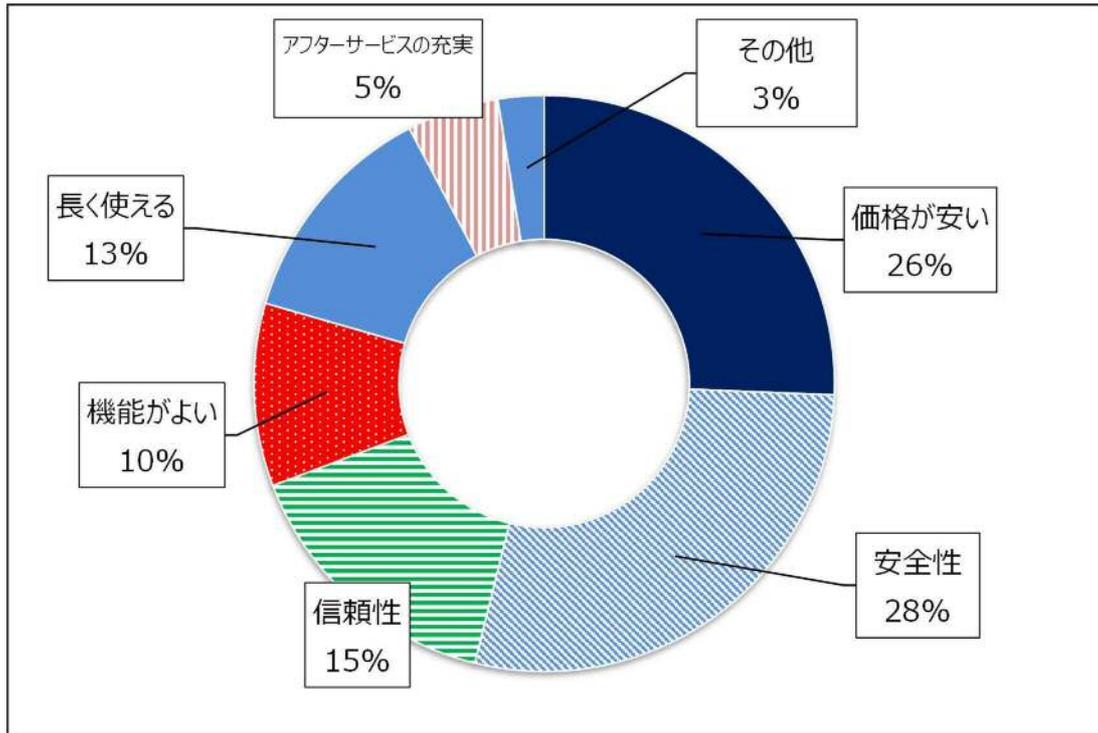
★ 「新型コロナウイルス」、「高齢化問題」、「環境問題」、「消費税率」、「その他」の順となりました。

《その他・補足意見》

- ・（保険料など）50.80 問題。
- ・（保険料など）少子化対策に官民で取り組むべきかと。
- ・（その他）自分の健康。
- ・（その他）自然災害。ここ数年自然災害が多いので、自宅の備蓄がどこまで必要か。足りるのだろうか（個々の自治体ごとに条件が違うので（戸建・マンション等）。それぞれに適した備えの情報が多い。



問8 今後一年間商品やサービスを選ぶ際に重視することは何ですか？



- ★ 「安全性」、「価格が安い」、「信頼性」、「長く使える」、「機能がよい」、「アフターサービスの充実」「その他」の順となりました。

《その他・補足意見》

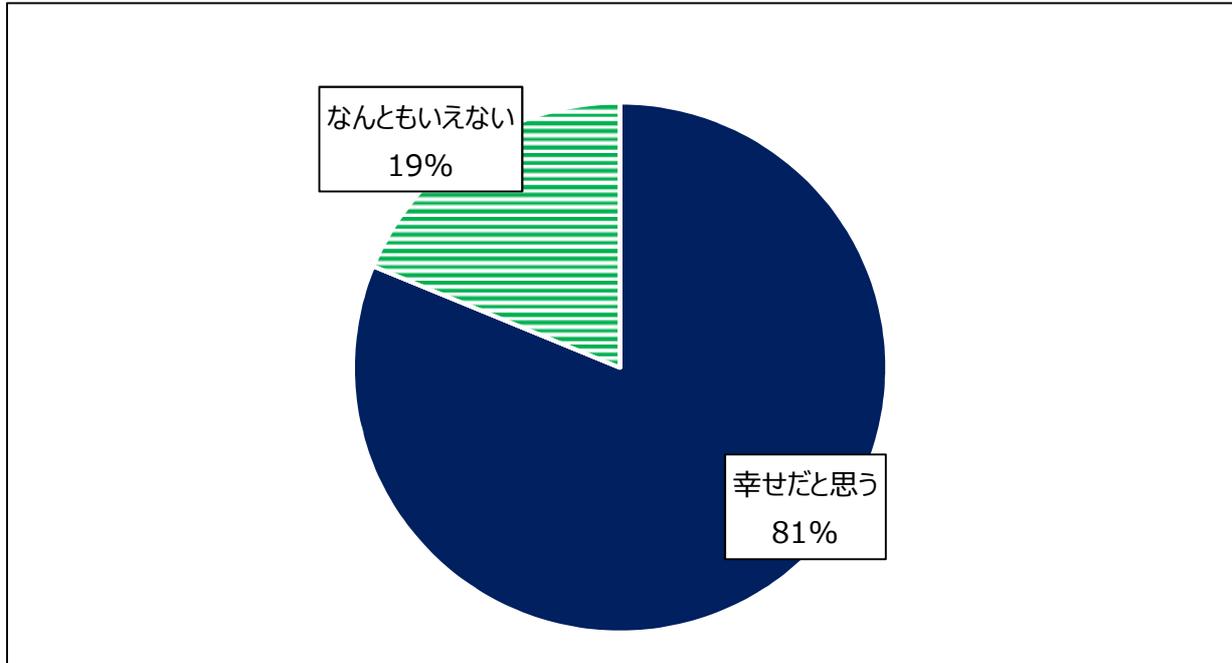
- 使う頻度が多い。
- 価格は高くても良いので機能性に富んで、安全・安心なものを。

問9 「ゆとりのある生活」とはどのような暮らしだと思いますか？

《自由意見》

- まず収入で安心できる生活が送れること。次に健康で人さまに心配をかけないこと。そして楽しく日々を暮らせること。
- 金銭的に将来の不安が無いこと。
- 特に価格を気にせず、スーパーを比べる事なく買物をする事。また、外食も値段より、自分が食べたいものを食べられること。
- 仕事、趣味共に取り組める暮らし。
- 経済的にゆとりがあり、時間的・空間的ゆとりを持って心身に余裕や落ち着きが感じられる生活。
- 病気の心配がさほど無く、他の人との人間関係の軋轢も無く、心置きない人間関係を保てる人がおり、時間が空けば趣味に浸れる生活。
- 生活が安定し、心が穏やかで過ごせること。
- 心のゆとり以前に、まず、生活を続けていく上での費用にあまり悩まないですむような暮らしぶりを期待する。経済的余裕があってはじめて日々の心の安定が保たれる日常があれば、それを「ゆとり」と感じると思う。
- ある程度の収入と貯蓄がある生活。そうすれば心にも余裕が持てる。
- 旅行に行ける。自分のやりたいことができる。お金の不安がないこと。

問10 現在、幸せだと感じていますか？



《具体的な理由》

幸せだと思う

- 家族ともども元気で仲良く生活しているから。
- 年齢的に不調は少しある。生活に困らず、家族のお世話ができること。
- 多少の健康面の心配事はあるにせよ、経済的に困窮している訳でもなく、時間的にも空間的にもゆとりをもって生活できているので幸せだと思う。
- 自分の子供が、私が作ったものを何でも食べてくれること。また、あれが欲しい、これは嫌とは言わず、買物の時も協力してくれること。
- 主人の両親、私の両親も健在で生活できており、家族が無事に生きていることが最も幸せ。娘は結婚し、息子も仕事をしていること。
- 心配事はあるものの、特段の不便なく暮らせているから。
- 決して楽な暮らしではないが、欲を言い出せばきりが無いことを肝に銘じているので、命があり、健康で、時間的なゆとりもう少しあればそれは幸せなこと、と思うようにしているから。
- 家族全員一応健康で金銭的にも年金等で一応生活がまかなえている。

なんともいえない

- 家庭・仕事、課題がある。



問11 消費税率が、令和元年10月から10%になりました。御自分の生活にどのような変化がありましたか？

- 10%は高い。
- 食料品の8%税率は特に変化はない。日用品や家電等々は会計時に増税（8→10%）を感じる。衣類、日用品の衝動買いはずっと少なくなった。
- 食事代が上がった。
- 「キャッシュレス決済還元のお店」を考えながら、店選びをすることになった。また、キャッシュレス還元など、現金で支払うメリットもなくなってきた。中々現金をATM等から引出すことがなくなった。
- 高額商品を買うことに抵抗を持つようになった。
- 税率が上がる前にはメディアに踊らされているいろいろ心配したが、実際10%になってみると、さほど変化は感じずに支払っていると思う。ただし、スーパーマーケットの買物の想定額と実際の額が一致するまでには、時間がかかった。
- 必要性が高い物を買うようにしてムダを減らすようになった。
- 生活が圧迫されている感じはなく、（普段から割引のとき、必要な物、消耗品等早めでも購入するようにしているので）。ただ、買いためが増えて置き場所に困ることがある。
- 食品、生活用品以外をお店に行って買うことが少なくなった。洋服や家具、家電も安く手に入れる為インターネットで買うことが多い。メルカリ、ジモティーも活用するようになった。

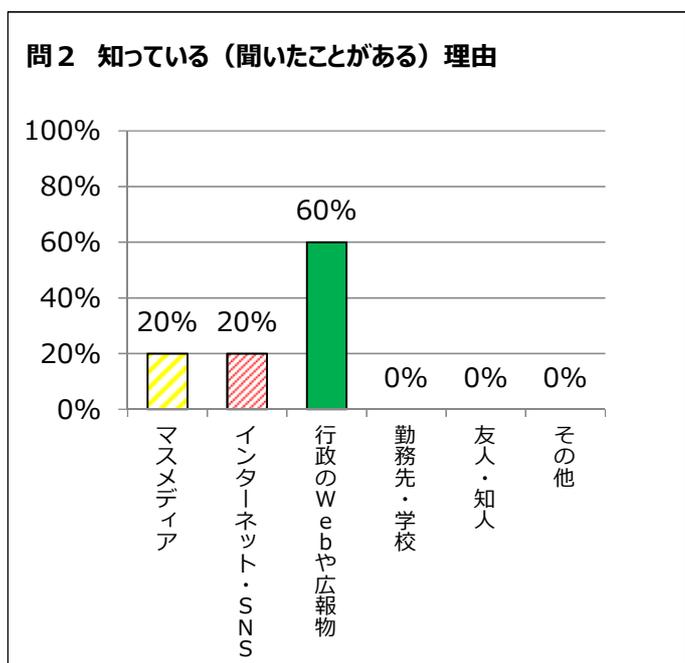
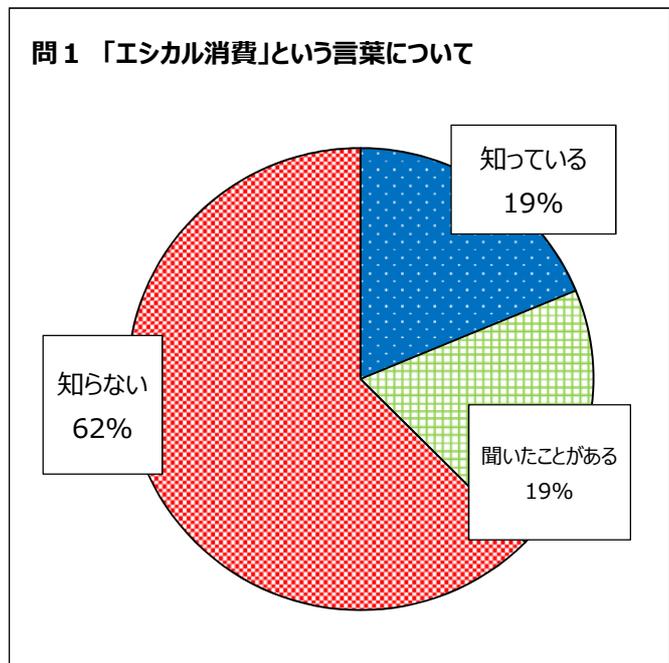
問12 新型コロナウイルス感染症による影響で、御自分の生活にどのような変化がありましたか？

- 日常行動でのマスク・手洗いは必ず行う。今のところ県をまたいでの外出はしていないので生活圏が限られちょっとストレスが溜まっている。
- 散歩ができない。
- まず、交通機関は公共ではなく、なるべく自転車を選択します。休日の過ごし方も、建物より屋外へ、人が集まる所は避けている。屋外でも遊具等触った後は、石鹸の手洗いをし、帰宅後も手洗い&着替えを徹底している。人（友人）と外食も誘うことがなくなった。
- とにかく不自由である。スポーツ、絵画鑑賞等、楽しみが激減である。
- 毎日体温を測り、外出する時も気をつけているが、日々の生活にはあまり変化はない。
- 外出自粛の影響で、近所で手に入らないもの等をネット通販で購入するようになった。人と接触しないように生活するという今までにない購買活動になった。（まわりの友人達も同じ意見だったが）この形態で欲しい物が手に入るならば、どこに住んでも良いだろう、という考え方になった。
- 手洗いとうがいは励行している。常にマスクをして外出せざるを得ないため、暑い日は装着が苦痛な時がある。未だ、図書館やコンサートには行けなく、又好きなMLB中継やゴルフ中継もなく、張り合いが少なくなった。
- 外出する事が減り、家に居る時間が長く買い物へ行く回数が減った。
- 衣料品を購入することがなく、去年の物で充分だと気がついた。お友だちとお茶をすることもなく、おしゃべりがストレス発散の私は自粛解除が待ち遠しかった。

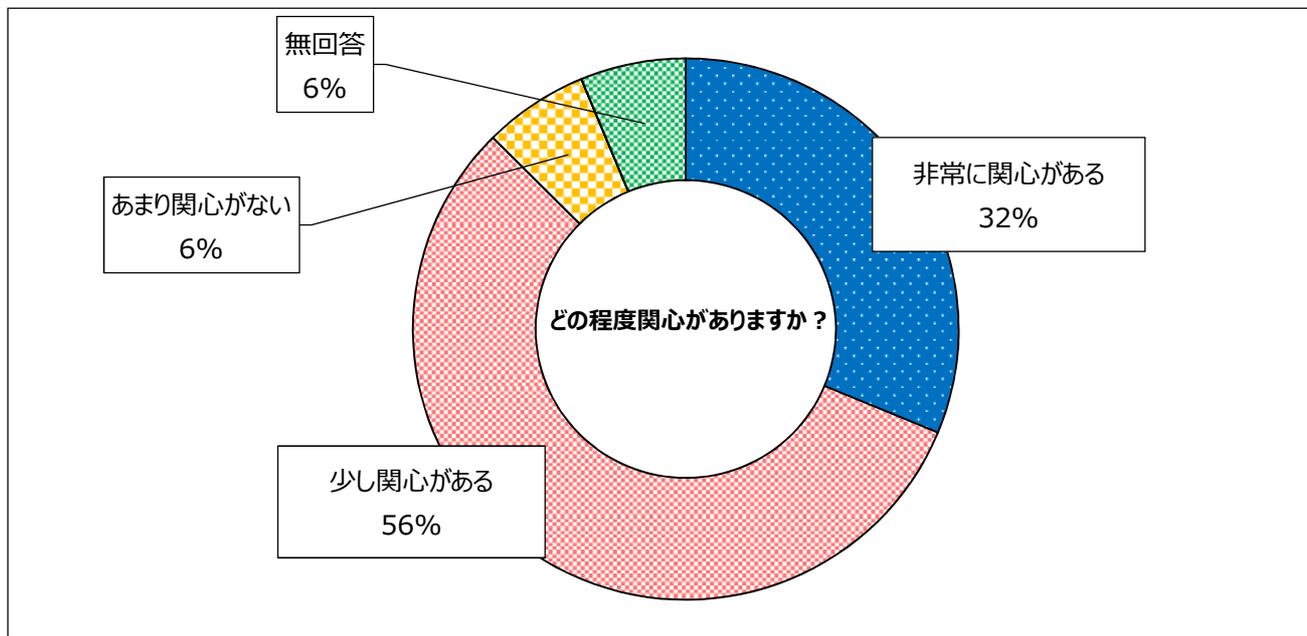
エシカル消費に関する意識調査

問1 「エシカル消費」という言葉を知っていますか？

問2 「エシカル消費」を何でお知り（聞いた）になりましたか？（問1で「知っている」「聞いたことがある」方）

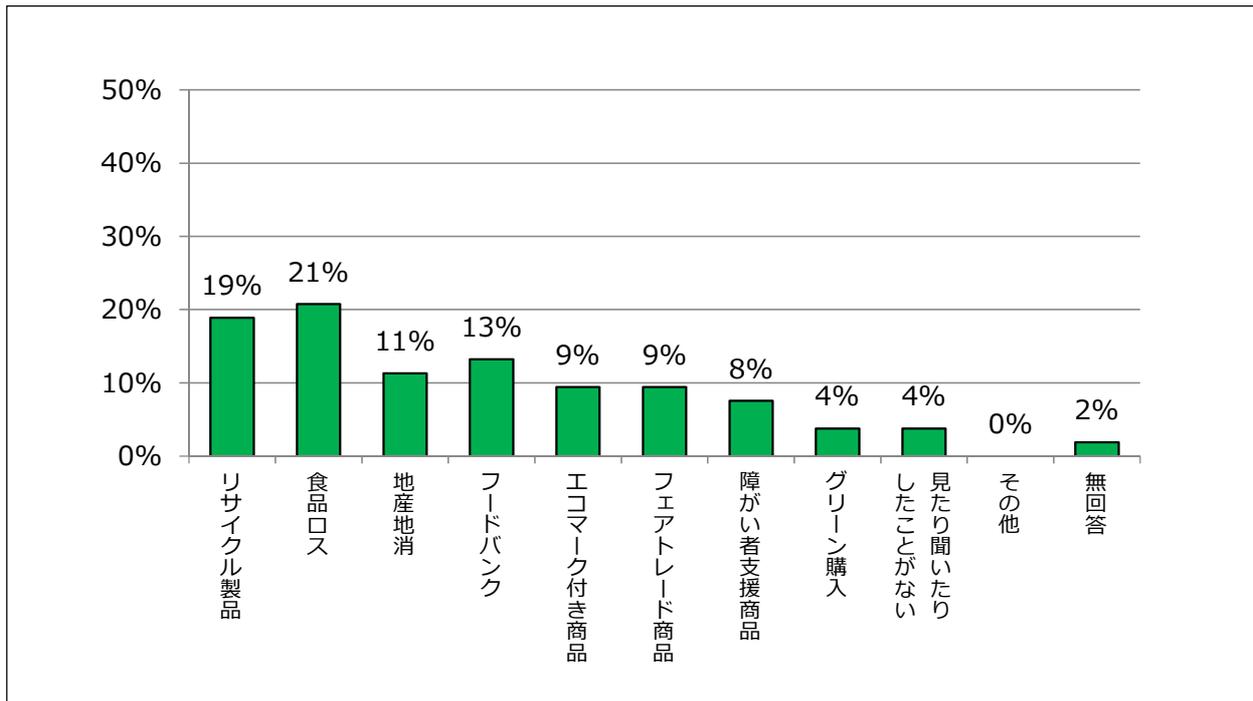


問3 「エシカル消費」にどの程度関心がありますか？



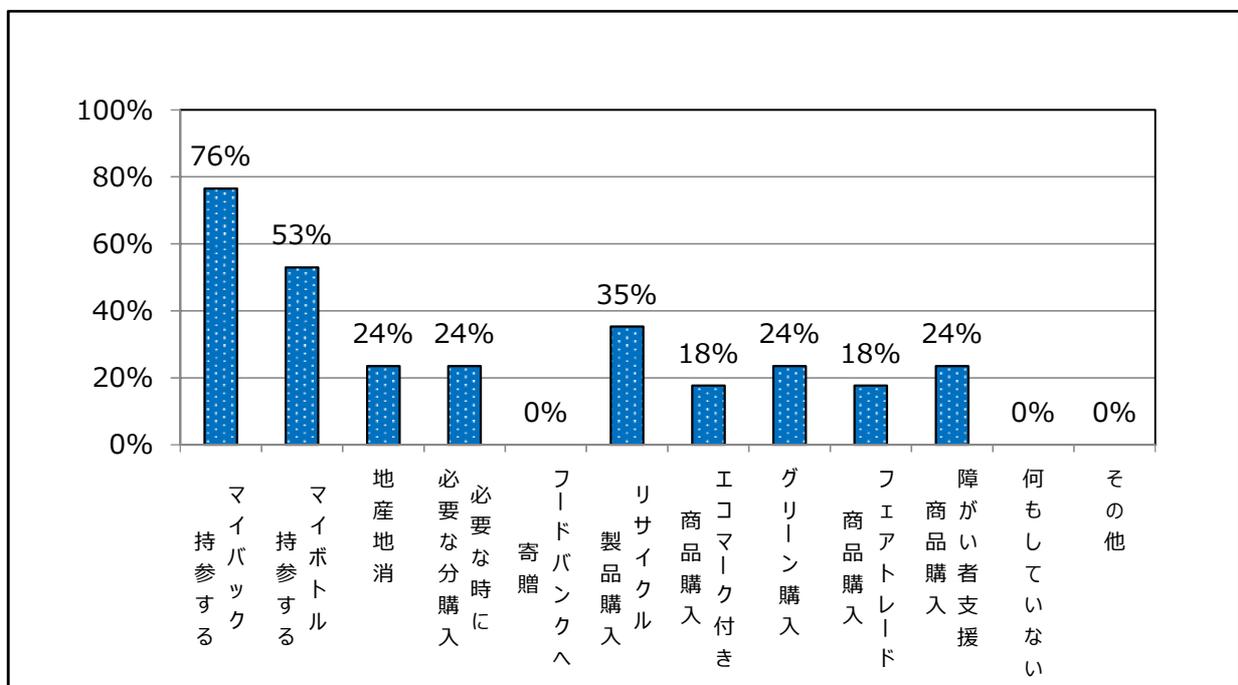
★ 「少し関心がある」、「非常に関心がある」「あまり関心がない」、「無回答」の順となりました。

問4 「エシカル消費」に関連した言葉や商品で、見たり聞いたりしたことがあるものはありますか？
 (複数回答可)



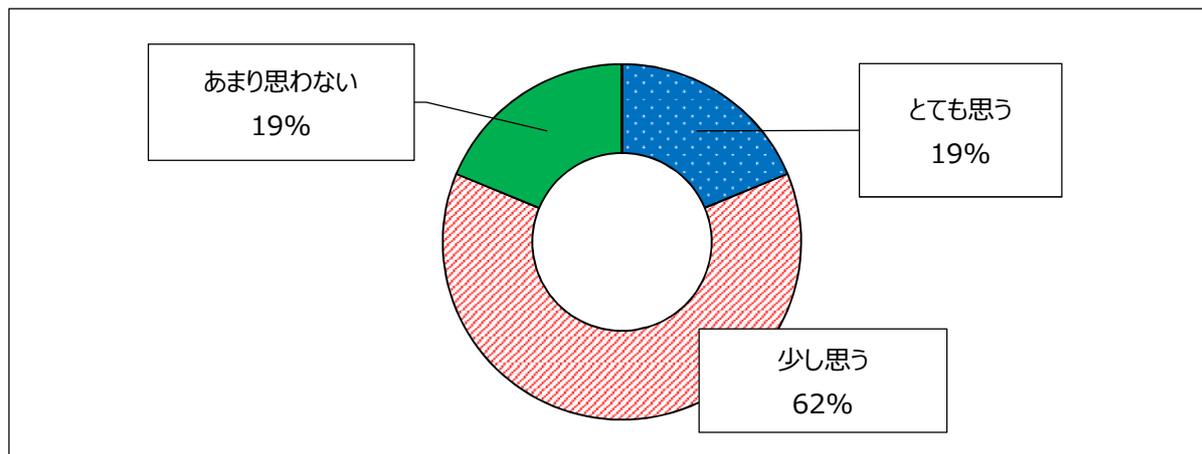
★ 「食品ロス」、「リサイクル製品」、「フードバンク」、「地産地消」、「エコマーク付き商品」「フェアトレード商品」(同率)、「障がい者支援商品」、「グリーン購入」「見たり聞いたりしたことがない」(同率)、「無回答」の順となりました。

問5 「エシカル消費」の取組としてできそうなこと、やっていることはありますか？



★ 「マイバック持参する」、「マイボトル持参する」、「リサイクル製品導入」、「地産地消」「必要な時に必要な分購入」「グリーン購入」「障がい者支援商品購入」(同率)、「エコマーク付き商品購入」「フェアトレード商品購入」(同率)の順となりました。

問6 「エシカル消費」につながる商品、サービスの購入を検討したいですか？

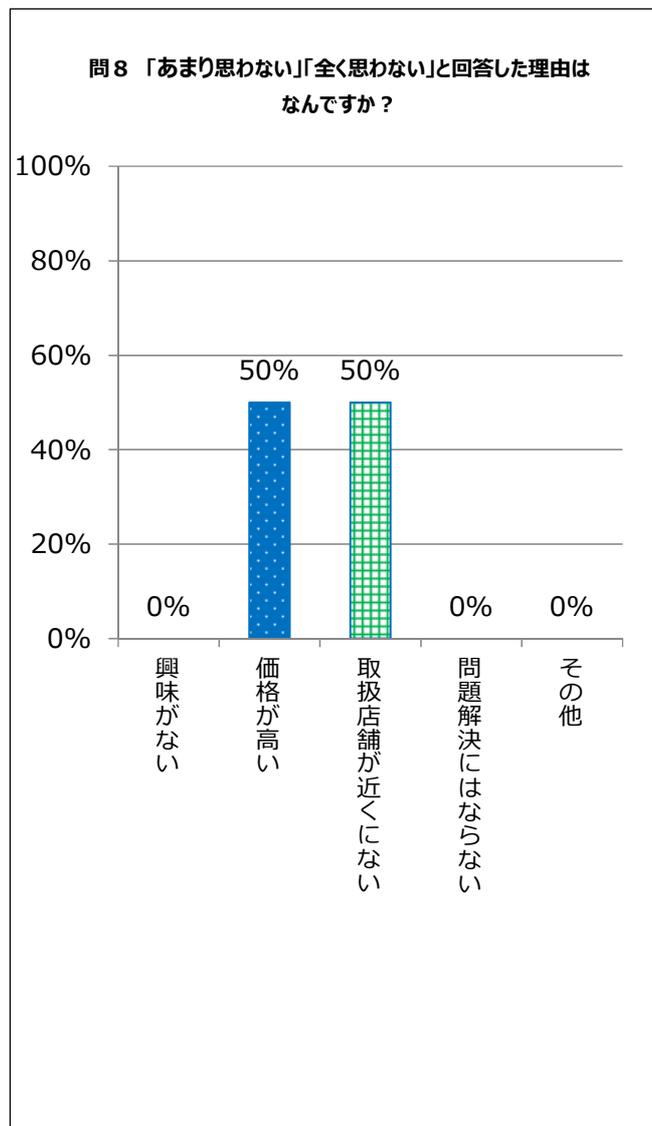
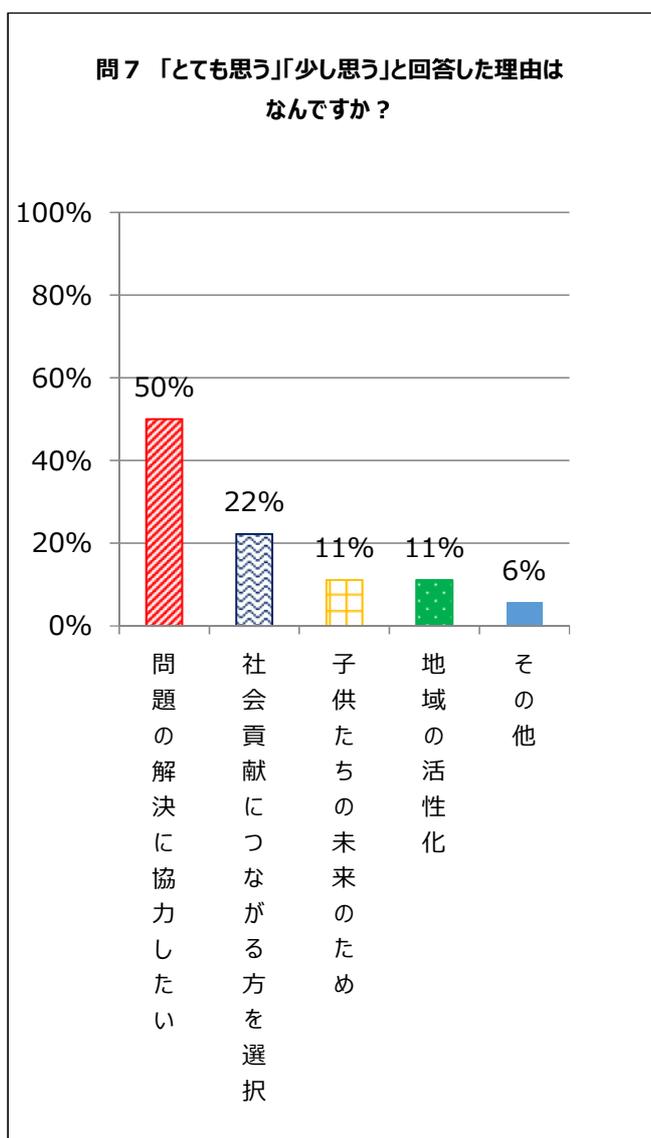


《補足意見》

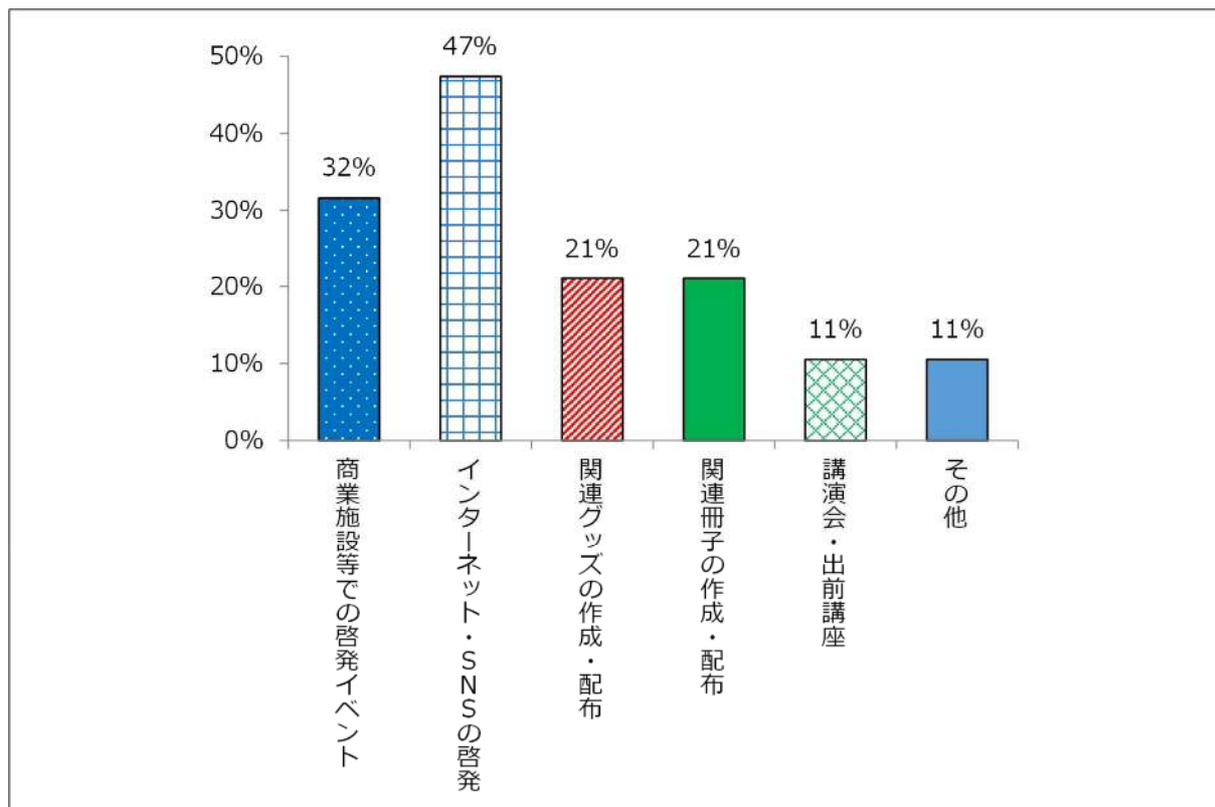
- ・値段が安ければ。

問7 問6で「とても思う」「少し思う」と回答した方。その理由はなんですか？

問8 問6で「あまり思わない」「全く思わない」と回答した方。その理由はなんですか？



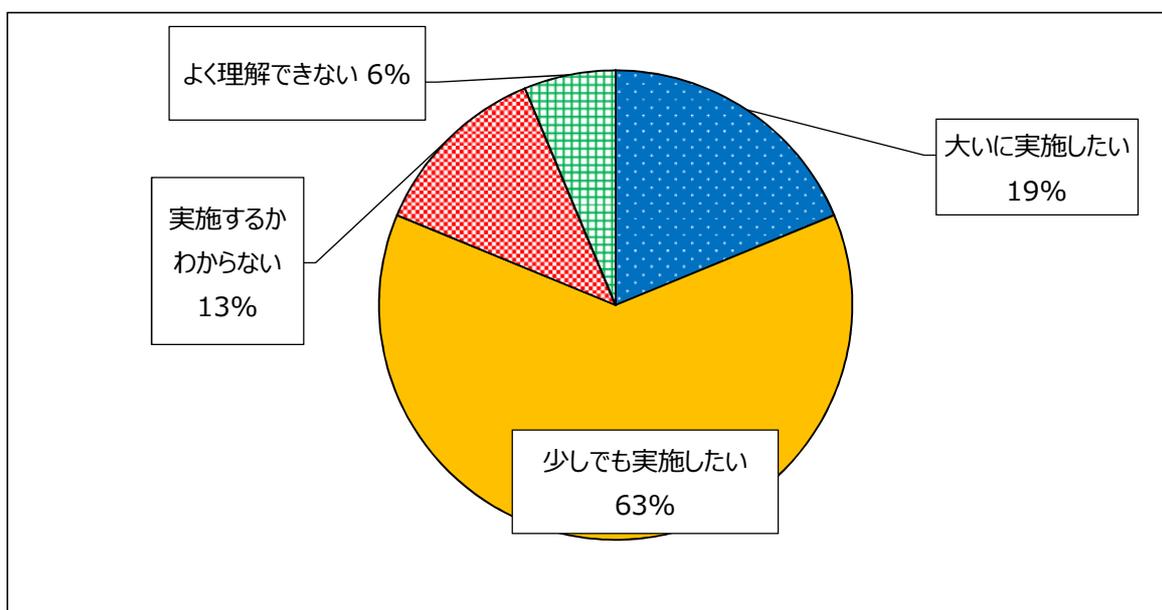
問9 「エシカル消費」を促進するためには、どのような取組が必要で効果的だと思いますか？
 (複数回答可)



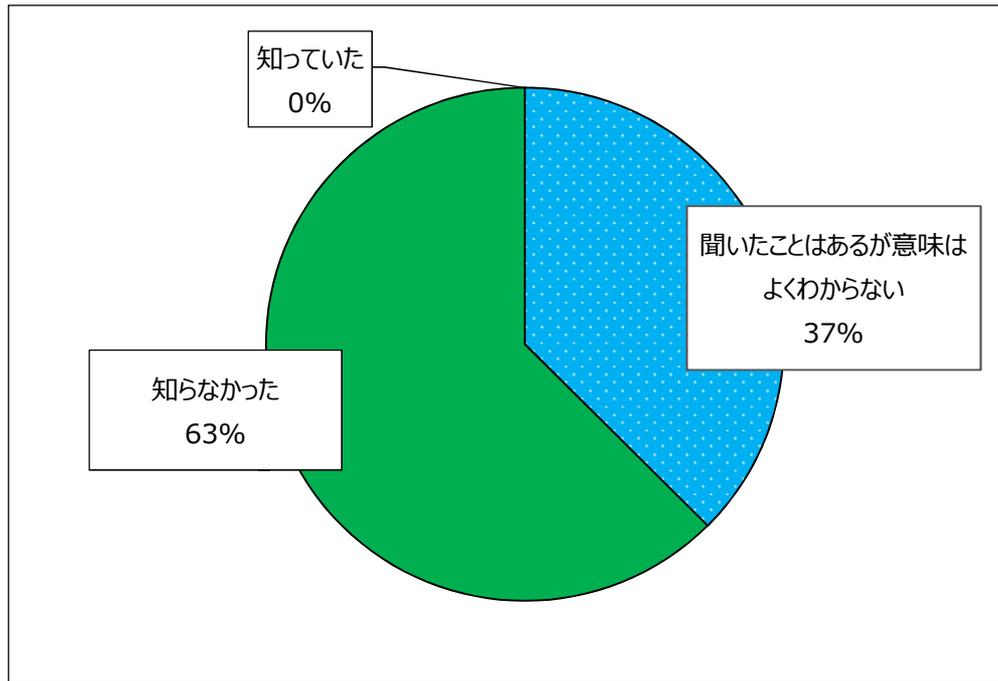
《その他・補足》

- ・小学校・中学校への啓発授業。小さい時から商品への視点を磨いておくことが大事だと思うから。学校の教材にもあるようだが、より具体的で身近な商品を手にとって理解してもらうことや、そのマークなどのうしろにあるものに目をつけられる人になってほしいと思う。
- ・テレビなどで知らせる。イベントなどで知らせる。

問10 アンケートを通して感じた「エシカル消費」に対する意識についてどのように思いますか？



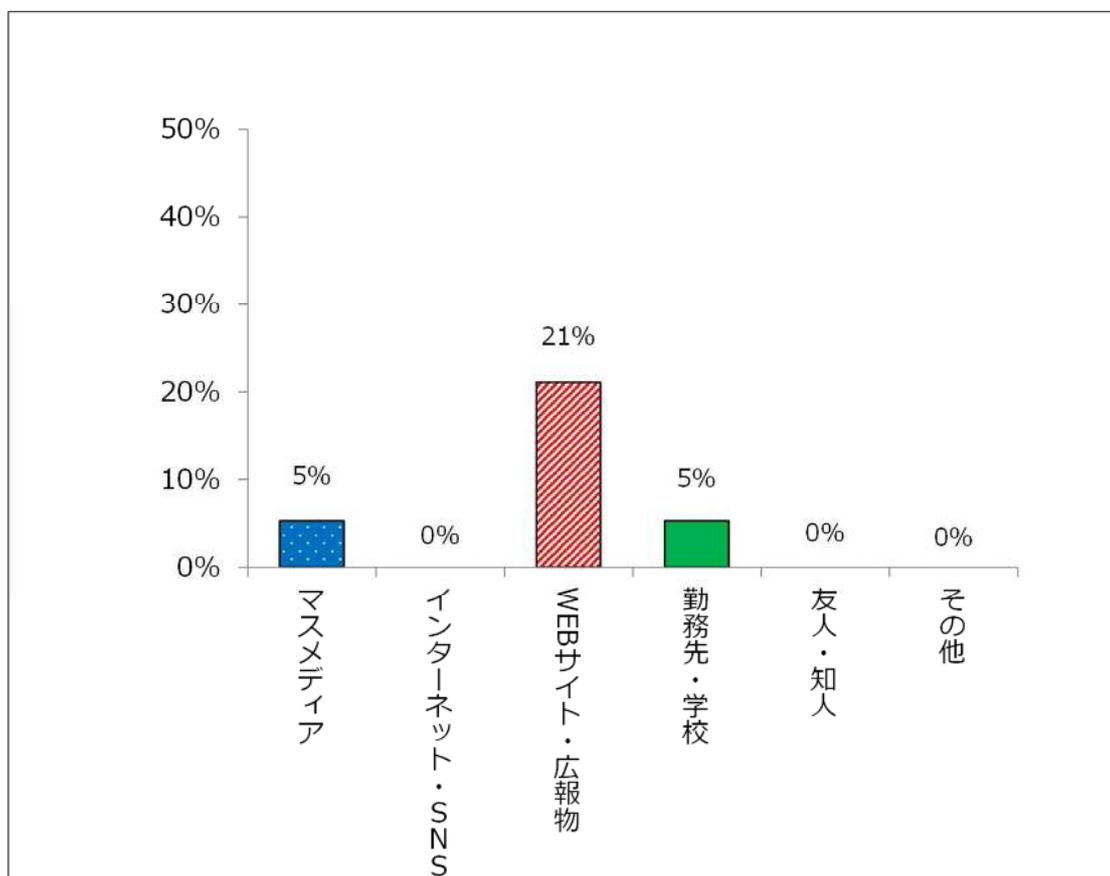
問11 「消費者市民社会」という言葉を知っていますか？



※「消費者市民社会」…消費者一人ひとりが消費を自分の満足のためだけでなく、周りの人々や将来生まれる世代、社会や経済情勢、地球環境などに広く影響を及ぼすことを認識して消費生活を行い、社会の発展と改善に積極的に参加する社会を意味する。

問12 問11で「知っていた（意味も理解している）」及び「聞いたことはあったが意味はよくわからない」と回答した方にお聞きします。

消費者市民社会を何でお知り（聞いた）になりましたか？



問13 エシカル消費・消費者市民社会という考え方について、自由に御記入ください。

- 自分のことのみを考える習慣から、社会とともにある自分を考える習慣になるよい機会と思う。
- 地球環境問題として、これから生きていく子や孫達が安心して生活できるよう、まず消費を見直すことが大切である。限りある資源を有効に使い、無駄のない消費生活を心がけたいと思う。
- 理解はできるが、どの様に変化したのか（その消費によって）を結果として目に見えるようになれば良いと思う。またその商品に大きくわかりやすいように、シール貼付するなど購入時に目にとまりやすい工夫があれば良いとも思う。
- 関心を持つこと、行動に移すことは中々難しい中で、いかに社会に浸透させることができるかは重要なことだと思う。自然とこうした考え方ができるためにも最低限の生活（ゆとりある生活）の整備が前提になると思う。
- かしこまってやっても上手くいかないのが、気の効いた商品・サービスを増やすことが必要かと思う。
- 毎日いろいろな物を買って消費しているが、あまりその意味や内容については考えていない。これからはエシカル消費について少しずつ意識していきたいと思う。
- 自粛生活の中で今までとは違う購入行動が多岐にわたってきた。今だからこそ、エシカル消費という新しい消費行動を始めるべきタイミングと思う。購入する事に意義をつける。多くの人が、それぞれ自分の行動を見つめ直す機会だと思う。それが、しいては自分の為にもなるというエシカル消費の意味を今こそマスコミ・SNS等で広めていくべきではないかと思う。
- 消費という言葉は、日々の生活に必要なものを購入していくことと簡単にとらえていたが、その日常はすべて社会参画の場所だということに気づいた。安いものにとびついてしまいがちだが、一呼吸おいて、商品パッケージを眺めることで、金額だけではない、その商品の価値を考えながら生活していきたいと思った。
- この動きは、SDGsの活動と呼応しており、今後とも広く社会に定着すべく、自分ができることを実行していきたい。
- 小さな事も一つ一つ積み重ねて、無駄を減らしてしていく事をしていきたい。
- 恥ずかしながら「エシカル消費」という言葉を知らなかった。ただ、内容等を知って、普通に障がい者施設のパンを買ったり、エコな商品を買ったり、賞味期限の近い物を買ったりしており、という行動をしていた。周囲の事（環境・社会の事）を考えながら、生活することがエシカル消費につながると思った。
- 将来の地球のためにはいいと思う。
- まだまだ認知度が低いと思う。様々な人が集まるスーパーやモールで特設コーナーを作り、商品の体験販売を行い、商品を知ってもらおうべき。フェアトレード商品はよく買うが、味がとても良い。あまり知られていないのがもったいないと思う。
- エシカル消費の事はよく知らなかった。消費者市民社会テレビなどで宣伝したらよいと思う。

